

北海道支部創立20年総会

9月15日
京王プラザホテル札幌
出席19社53人

「将来を見据えて活動」

松谷支部長、節目の決意

冒頭、松谷明良支部長は、「北海道支部は平成3年に設立され、今回は20年の節目の年の総会となった。これから一人前の成人として認められる時期になったといえる。現在のパチンコ業界の情勢は大変厳しいものがある。そのような中で日遊協としては、業界の将来を見据えて何を提言し、どんな手を打っていくかに尽きる」と挨拶した。

北海道遊技関連事業協会
北海道支部



挨拶する松谷支部長

深谷会長は「この40数年間にパチンコ産業が大きく変わった。働く人の意識を変えようと心に期して今日までやってきたが、立派な人たちがどんどん出てきた。レジャー産業の雄たるパチンコ産業に従事しているんだと、そのかじり

りを自分たちがしているんだと、誇りを持って経営に携わってほしい」と述べた。

北海道警察本部、坂井英文保安課長が「行政から見た最近の遊技業界」について講話を行った。篠原弘志日遊協専務理事が最近のカジノ法案等の動向を報告した。

セミナーには約90人が参加、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所取締役チーフコンサルタン

ト、中川系太郎氏が「サブイバルパチンコ業界、2010年後半の集客戦略とやるべきこと」と題して講演した。

最後に懇親会に移り、(財)北海道防犯団体連合会専務理事、熊谷一郎氏、北海道遊技事業協同組合連合会常任顧問、筒井昭雄氏が来賓で祝辞を述べ、回胴式遊技機商業協同組合理事長、伊豆正則氏が中締めめの挨拶をした。

リサイクル推進委員会

環境中心に課題設定へ
6団体でワーキンググループ

第50回遊技機リサイクル推進委員会(座長・篠原弘志日遊協専務理事)は9月6日、日工組会議室で開かれ、今後同委員会で取り組むべき課題について協議した。進め方としては、6構成団体(日遊協、日工組、日電協、全日遊連、全商協、回胴遊商)から各1人、さらに日工組、日電協の企業から各2人の計10人でワーキンググループを組織することを確認した。また、課題としては同委員会の設置及び運営要綱に規定されている推進事項8項目の中から発展させ

て、①「環境にやさしい遊技機」のガイドライン制定 ②委員会としてのリサイクル率目標の自主制定 ③エコ遊技機マークまたはリサイクル遊技機マークの作成 ④ホールから有価または廃棄として出される遊技機の機歴管理の検討 またはリサイクル専用機歴管理システムの検討 ⑤遊技機のさらなる手解体・分別処理容易化の検討 ⑥リサイクル業者の選定および育成——などが候補に上がった。

平成21年度使用済み遊技機(廃台)のリサイクル量調査(09年4月1日〜10年3月31日)がまとまった。日工組、日電協、全商協、回胴遊商の4組合のパチンコ・パチスロ台排出量は287万4852台、4万9357トン(前年より約71万5000台、約8700トンの増)。このうちリサイクル量は4万5697トンで、リサイクル率は92・6%と前年より1%増加した。92・6%の内訳はマテリアル77・7%、パーツ14・9%だった。

また、平成21年度リサイクル選定業者実態調査(09年4月1日〜10年3月31日)がまとまり、報告された。

お年寄り145人が熱い 北海道で17回目の敬老大会

(株)ビクトリア観光(松谷明良社長、日遊協北海道支部長)のパラービクトリア余市店(成田光一支配人、北海道余市町)で9月16日午前、敬老パチンコ大会が開かれた。地域の65歳以上のお年寄り145人が参加して1時間、店内は競技の熱気で盛り上がった。

これは同町大浜中東区会(町内会)が主催して1994年から毎年1回開いている催しで、今回17回目となる。当初、東区会から敬



玉の動きに集中。お年寄りたちの熱戦が続く(北海道・余市町)

老の日のレクリエーションに店を使わせてほしいとの要望が余市店にあり、地域に密着した営業を企業理念とする同社として、場所と遊技機を開放してお年寄りに楽しんでいただくことにした。東区会の石坂憲盛会長は「入院しなきゃいけないのに、これに参加するためにはわざわざ入院を延ばしている人もいます」と、お年寄りたちのわくわくぶりを話す。

一等は空気清浄機

大会開始30分前の午前9時半ごろには参加希望者145人が勢揃いしてそれぞれ好きな台に座り、隣近所の座席同士でおしゃべりに花を咲かせていた。半数近くは女性だった。

競技する台は4円台で、各自分のドル箱に計4000個の玉が用意されていた。競技時間1時間で、誰が一番玉を出すか競う。賞品は1等が空気清浄機。以下、焼き肉セット、ポット、バッグ、お米な

どすべて寄付されたもの。

午前10時、競技開始。お年寄りたちの目の色が変わる。チンジャラジャラ、チンジャラジャラの音が貸し切りホールの中で騒然と響きわたる。店員たちは遊び方わからないおばあさんに手を取って教えたり、満杯になった人にドル箱を補給したり、ひっきりなしに通路を歩き回っていた。

かつきり1時間で競技終了。優勝は1万3000発以上出したおじいさんとおばあさん。成績優秀な男女10人ずつが表彰された。

お年寄りの世話で奮闘した店員の1人、濱川ひとみさんは、「皆さん気さくで、近所のおじいちゃん、おばあちゃんのお相手をしている感じ。私たちも一緒に楽しめました」と語っていた。

広島でも134人招待 18回目のシニア大会

(株)後藤(後藤直親代表取締役、広島市)のホール「銀座1」(広島県世羅町)で9月16日、店休日を利用して「第18回シニアパチンコ大会」が開かれた。この催しは

車椅子のお年寄りも参加したシニアパチンコ大会(広島・世羅町)



同ホールが世羅町と三原市の3老人ホールの65歳以上のお年寄りを招いて、ほぼ毎年行っている(昨年はインフルエンザ禍で休み)。

同ホールはパチンコ160台、パチスロ96台を備える郊外型の店舗。年1回のプレーを楽しみにしているお年寄りは多く、今回は計134人が招かれ、このうち9人は車椅子での参加だった。パチンコとパチスロの開放は午後1時から2時までの1時間。チンジャラジャラの音とお年寄りたちの歓声がにぎやかに響いた。同社は3施設に車椅子を1台ずつ寄贈した。

セキュリティ対策委員会

7誌14本の「撲滅」記事

「攻略法」で予想以上の反響

第48回セキュリティ対策委員会(委員長・山田久雄日遊協副会長)は9月22日、日遊協議室で開かれた。同委員会と協力してパチンコ攻略法詐欺撲滅キャンペーンを展開しているファン雑誌5社のキャンペーン記事の掲載状況(予定含む)が報告された。5社は攻略法販売会社の広告を掲載しないファン雑誌で、7月に「パチンコ攻略法詐欺撲滅ファン雑誌連絡会」を結成した。キャンペーンでは、7誌の9~11月号までに予定を含めて14本の記事掲載が報告された。

新たに1社が連絡会に

また、業界誌を発行する(株)Hinode出版も趣旨に賛同して、9月から連絡会に加入したことが報告された。同社が発行する「でちゃう!」はいわゆるファン雑誌ではなく、ファンとホールを取り持つコミュニケーション系の雑誌で、同誌上で今後キャンペーンを展開していく。



攻略法詐欺撲滅キャンペーンについて報告があったセキュリティ対策委員会

一方、連絡会を構成する中の1社が発行する週刊誌が、依然として攻略法販売会社の広告を掲載していることが報告された。同委員会としてはキャンペーンに協力しているファン雑誌編集部をサポートする意味も込めて、当該出版社に対し週刊誌での攻略法販売広告

の掲載を自粛するよう申し入れることを決めた。

前回の委員会(7月)で、一部のホールの会員情報がダイレクトメール業者や攻略法販売業者に流出しているのではとの指摘を受け、全日遊連が9月13日付けで個人情報保護に関する指針の文書を、都道府県方面遊協を通じて全国の組合員ホールに送付したことが報告された。

全日遊連委員から、8月中旬、代金引換郵便詐欺の発生が報告された。犯人はポスターのコピーを入れた郵便小包約1万個を岐阜市から全国のホールに代金引換郵便で発送、各ホールから代金9700円を詐取しようとしたが、不正対策ネットワークからの連絡で全日遊連から地区遊協を通じて全国のホールに素早い電話連絡が行われ、また、島根県警がすぐに対応して口座を凍結したため、被害は最小限にとどまったという。全日遊連側では教訓として、①他団体を含めた全国規模の緊急連絡網の確立 ②各ホールの日頃の危機管理の重要性——などを強調した。

中古機流通協議会

7、8月の確認証紙を報告

第69回中古機流通協議会(委員長・金本正浩全日遊連副理事長)は9月28日、全商協会議室で開かれ、7、8月の確認証紙(中古用、認定用)発給状況が報告された。

パチンコ機の中古用稼働実績は、7月が5万3019件(前年同月対比81%)、12万7626台(同68%)、8月が4万5318件(同98%)、11万2122台(同89%)と、件数、台数とも前年同月を下回った。チェーン店移動と販売の比率(台数)は7月が50対50、8月が53対47だった。一方、認定申請では7月が600件、2065台、8月が1401件、5759台と4~6月より多めに推移し、甘デジ機種がほとんどを占めた。

パチスロ機の中古用稼働実績は、7月が1万2369件(同74%)、2万6597台(同69%)、8月が1万268件(同85%)、2万3255台(同84%)だった。チェーン店移動と販売の比率(台数)は7月が44対56、8月が49対51だった。認定申請では7月が39件、71台、8月が34件、49台だった。

10・30植林に家族参加を 共生の森のポスターが完成



昨年11月14日、大勢の家族が参加した第2回植林

10月30日(土)に共生の森(埼玉県嵐山町花見台地区)で行われる第3回植林活動への、参加を呼びかけるポスターが出来上がった。

当日のスケジュールは、植林(10~11時)、宝探しハイキング(11~12時)、食事会(12~13時)、午後の自由行動となっている。また、雨天の場合は花見台工業団地センターで森の工作教室(10~12時)、食事会(12~13時)、午後の自由行動となる。自由参加プランとして、森の工作教室、干し柿づくりが予定されている。当日は東武東上線武蔵嵐山駅から共生の森へシャトルバスを運行する。日遊協会員や後援団体から家族連れでの参加をお待ちしている。

参加者募集!!
9/13(月曜日)
10/15(金曜日)

第3回植林活動

共生の森

平成22年
10月30日(土)

ご家族、ご友人で植林に参加しよう
日遊協はパナソコ業界唯一の公益法人です

～子供たちの未来のために～
社会貢献・環境対策委員会

共生の森

PM: 平成22年10月30日(土)
10:00~13:00
13:00~自由参加プラン

会場: 埼玉県比企郡嵐山町大字花見台地内
〒351-0201 埼玉県比企郡嵐山町大字花見台地内
〒351-0201 埼玉県比企郡嵐山町大字花見台地内

参加費無料
(植林活動費、シャトルバス代)

TEL 03-3553-4333 FAX 03-3553-4334

共生の森・第3回植林を呼びかけるポスター

参加費無料。

共生の森は、未来を担う子どもたちに自然の大切さを知ってもらうため、日遊協が主催する10年計画の里山づくり。さる08年、埼玉県、嵐山町、日遊協の3者で締結した「埼玉県森林(もり)づくり協定」に沿って同年11月に1回目の植林を行い、ことし3回目を迎える。埼玉県、嵐山町、遊技産業13団体(全日遊連、日工組、日電協、全商協、回胴遊商自工会、補給組合、メダル工業会、同友会、余暇進、PCSA、PSA、認証協)が後援している。

参加募集期間は9月13日~10月15日。申し込み・問い合わせは日遊協事務局まで。

電話 03・3553・4333

FAX 03・3553・4334

メール nori@nichiyuko.or.jp

登録資格審査委員会

新規1、更新53社を承認

遊技機販売業者の平成22年度第2回登録資格審査委員会(委員長・深谷友尋日遊協会長)は9月8日、日遊協会議室で開かれた。新規登録申請1業者(日遊協関係)を承認した。

また、更新登録申請54業者のうち53業者(全商協関係32、回胴遊商関係20、日工組関係1)を承認した。

更新登録申請をした残りの1業者(回胴遊商関係)については、過去1年間の販売実績が300台を満たさないため保留(今後1年間の実績を見守る)とした。

警察人事

警察庁人事(8月26日) 警察庁総務課長(警視庁生安部長) 山下史雄▽警視庁生活安全部長(石川県本部長) 宮園司史

広島県警人事(9月1日) 安佐北署長(生活環境課長) 寺岡伸和▽生活環境課長(警務部監察官) 寺尾辰也

神奈川県警人事(9月3日) 平塚署長(理事官兼生安総務課長) 高野喜一▽生活安全全部理事官心得兼生活安全総務課長・生活安全対策室長・生活安全特別捜査隊長・サイバー犯罪センター所長(地指課長) 福井隆

店長等講習・試験

1月26日、東京で

パナソコホールの運営を経営者(会社)から任せられた店長や店長候補者に、健全な営業に資する心構え・知識・技能等を身につけてもらうため、日遊協が関係団体の協力を得て行う店長等講習・試験が、来年1月に東京で行われる。

(東京会場)

2011年1月26日(水)

都市センターホテル(平河町)

午前10時開始、午後5時前終了

受講・受験料は日遊協会員1万7200円、会員以外2万2450円。希望者は日遊協事務局に申込用紙を請求する。定員に達すると締め切る。

日遊協事務局

電話 03・3553・4333(代)

FAX 03・3553・4334

中部支部

対応、連携で指摘や討議 愛知県ゴト情報対策協議会

愛知県ゴト情報対策協議会は9月14日、愛遊協役員室で開かれ、日遊協中部支部から5名、愛遊協から5名、岐阜県遊協2名、三重県遊協1名が参加して、ゴト情報の報告、分析を行った。

全国規模の代金引換郵便詐欺が報告され、注意が喚起された。

愛遊協から電磁波ゴトに関する報告があった。

日遊協不正対策勉強会のアンケート結果から、被害に遭った場合の対応について分からないというケースが多いことに対して対策の必要性が話し合われた。

海岸清掃に取り組む

中部支部(山口悟支部長代行)では、新たなボランティア活動を決めた。支部ボランティア派遣隊員が、フシミコーポレーション(株)ボランティアチームと合同で10月中旬ごろ、愛知県知多郡の内海海岸を清掃する。

九州支部

(株)玉屋が花火大会の清掃

九州支部の会員ホール、(株)玉屋(渡邊博春社長)の本店及び14支店の社員50人は8月4日、福岡県飯塚市・遠賀川河川敷で前日開かれた花火大会の清掃活動に出動、地元のホテル・人材センターのお年寄り50人と一緒にトラック10台分のゴミ(約4ト

ン)を回収した。

この花火大会は飯塚市などが主催して同月3日夜に行われた筑豊地区最大級の大会。このゴミ回収は、同市で創業した玉屋として地域への恩返しのために続けている活動で、今年で3回目。ゴミ回収は午前5時~7時の2時間行われ、社員たちは早朝散歩の地元住民たちからねぎらいの言葉をかけられてうれしそうだった。

マネカレ九州版も検討

九州支部役員会が9月6日、福岡県遊技会館会議室で開かれ、山口雅弘支部長以下15人が参加して、報告・討議を行った。本部各委員会の活動報告が行われ、マネジメント・カレッジの九州バージョンのものを具体化するために次回検討することになった。ばちんこ老人ホーム慰問活動は、大分県ほかで開催する方向で検討する。遊技機取扱主任について、役員から試験の問題正誤の解説、開催時期について要望が出された。

近畿支部

20人で街の清掃

近畿支部は、クリーンおおさか2010(大阪市内の一斉清掃・11・11・7)の一環として、浪速区一帯の清掃に参加する。福井章支部長を先頭にボランティア派遣隊員など20人が11月5日、元町1丁目を中心とする街の清掃に当たり、清掃用具など支部で用意し、午後11時~12時を作業する。支部では、今後毎年参加して活動する予定だ。

北海道支部

4団体合同で「勉強会」 セミナーからブース展示まで

北海道支部(松谷明良支部長)は不正対策勉強会を、札幌方面遊技事業協同組合ほか2団体と合同で10月28日に札幌コンベンションセンター

で開催することを決めた。

ボンベイ吉田氏(パチンコライターの)が講演を引き受け、(有)ジャパン・セキユリテイ・サービスの高石隆一代表取締役がゴト犯罪防止対策のセミナーを行う。また、業界関連企業10数社によるブースも開設され、見学が出来る。

DATA SPOT

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	187	+1
東北	460	+6
東京	374	+4
関東	1161	+15
中部	314	+5
近畿	543	+9
中国	193	+5
四国	99	0
九州	513	+8
全国計	3844	+53

(2010年8月31日現在)

パチンコ機増も頭打ちに

全日遊連は9月15日、店舗数、遊技機台数の2010年8月分を発表した。店舗数は昨年8月(1万1772店)より215店舗減り、前月よりも14店舗減った。遊技機ではパチンコ機が3万1704台増(昨年8月290万9795台)と固定化が続いている。同様にパチスロ機も3万6218台減(昨年8月129万1021台)と流れは変わっていない。<注>店舗数および遊技機台数は、各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成22年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			
					ばちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	11,675	22	18	105 (8)	2,935,449	1,266,083	156	4,201,688
2月	11,663	24	35	107 (14)	2,936,932	1,262,269	156	4,199,357
3月	11,616	14	54	107 (16)	2,935,356	1,256,127	156	4,191,639
4月	11,630	31	30	97 (7)	2,945,673	1,257,110	156	4,202,939
5月	11,613	18	31	105 (15)	2,944,960	1,255,851	156	4,200,967
6月	11,586	11	28	108 (21)	2,942,377	1,253,175	156	4,195,708
7月	11,571	22	44	102 (12)	2,940,635	1,253,832	156	4,194,623
8月	11,557	23	34	101 (10)	2,941,499	1,253,803	156	4,196,458